

UK

UK REPORT

New Products

ニシカ キャナルシーラーBG
／日本歯科薬品
＜歯科用根管充填シーラー＞

日本歯科薬品から発売された“ニシカキャナルシーラーBG”は、「Bioactive Glass」(バイオアクティブガラス)を配合したバイオセラミックス系の根管充填用シーラーです。封鎖性と生体親和性を向上し、根尖の治癒環境を整えます。

【特徴】

- Bioactive Glass とは、整形外科領域で骨補てん材等として使用されており、製材表面でアパタイトを生成して骨や歯と直接結合する性質を有するとされている生体活性バイオセラミックスの一種です。
- 充填後の象牙細管内ではアパタイトによるタグ様構造(アパタイトタグ)の形成が認められ、根管壁と強固に一体化します。また、生体との適合性に優れ、根尖歯周組織の細胞増殖や根尖の治癒を阻害しません。
- 誰が練ってもいつも同じ仕上がりで、少量から採取できるため無駄なく経済的です。
- 適度なX線造影性を有しています。
- 適度な硬さで硬化するため、再根管治療時にもファイルやリーマー等で容易に除去が可能です。

標準価格＝ダブルシリンジ入

A材・B材各 4.5g (2.5mL) 11,000円

アニフィス マイクロシステム
／ヨシダ
＜親水性付加重合シリコン印象材＞

いままでの1/4のかでミキシングできる歯科用シリコン印象材“アニフィスマイクロシステム”がヨシダから発売されました。25mLの小型カートリッジと専用のディスペンサーで従来のカートリッジと比較して少ない握力で操作が可能です。握力があまりない方でもラクに操作が行えます。また、コンパクトなサイズ感でハンドリングを容易にしました。

【特徴】

- 優れたチクソトロピー性により、印象材が流れにくく、適度な流動性をもちながら、精密な印象採得が可能です。
- インジェクション用のマイクロシリーズは、ライトボディ、レギュラーボディ、プレシャスライトボディ、プレシャスレギュラーボディの4種類をラインナップ。症例に応じた印象採得がさらにスムーズになります。
- オートクレープにて134℃までの滅菌が可能です。
- 包装は25mLカートリッジ4本入り。

標準価格＝ライトボディ

・レギュラーボディ 7,850円

プレシャスライトボディ

・プレシャスレギュラーボディ 8,750円

マイクロ用ディスペンサー 9,300円

ブルーマジック
／クルツァー・ジャパン
＜技工用カーバイトバー＞

クルツァー・ジャパンから発売された“ブルーマジック”は、破壊靱性の高いブルーPVD加工(窒化チタンアルミコーティングを含む多層コーティング)を施した技工用カーバイトバーです。被膜が薄く、シャープなエッジを必要とする切削工具に効果を発揮します。また、タングステン自体の母体特性を損なうことなく、切削表面を摩擦や熱から保護します。

【特徴】

- ブルーPVD加工は薄いのが高硬度、かつ滑らかで、切れ味の良さと耐摩耗性で、作業効率の向上を図ります。
- クロスカットの角度を調節することで、切削中に被切削物が逃げようとする力を抑制。操作しやすく、高い切削力を発揮します。
- ファインクロス、ミディアムクロス、RRXカット、コースクロス、スーパーコースクロスを用意し、用途に応じて選べます。

標準価格＝1本 5,000円

My Recommendation

『ビューティフィルフロープラスX』

＜松風＞



標準価格＝1本(2.2g) 2,800円

3本パック 5,800円

これ1本で研磨が短時間！長期的な艶の維持！

今回ご紹介させていただきます商品は、(株)松風より新発売になりましたフッ素徐放性インジェクタブルハイブリッドレジン『ビューティフィルフロープラスX』です。

特徴といたしましては、優れた表面滑沢性と研磨性、長期的な艶の維持性です。従来のS-PRGフィラーが微細になりましたナノS-PRGフィラーが含まれ、短時間の研磨で光沢が発現できます。また臼歯部咬合面にも高い機械的特性を持ち、CRの自己摩耗性や対合歯の摩耗が共に少ない特徴を有しています。

早速ご使用いただいております医院様からは、「切れが良く、糸引きがないため、研磨時間が短くなりました。」「ブラッシング後の他社製品と比較して、艶が違う。」とのお声をいただいております。築盛に適した形態維持性を持つFOO(超低流動タイプ)と、充填に適した適度な形態維持性と流動性を兼ね備えたFO3(低流動タイプ)の2種類をラインナップしております。レジンの糸引きや研磨時間にお悩みの方には、この機会に是非一度お試しください。詳細は弊社営業担当者にお尋ねください。

久留米店 営業二課 塚本 雅人

歯科医院経営を考える(482)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 有給休暇の付与日数 ～

人手不足が深刻になり、更に大手企業電通の女子社員の過労自殺をきっかけにして、労働時間の法的規制が厳しくなり、その影響が歯科医院にも出てくるようになってきた。先日ある先生からの相談の電話がかかってきた。三か月前に退職した従業員から、突然内容証明入り郵便が届いた。開けてみたら勤務中の未払い賃金を支払えというもので、時間外賃金は支払ったはずだと思ってよく読んでみたら、朝9時からの始業だが、開始時間の30分前には出勤して診療開始の準備をするよう指示していたその30分と、終業して10分は後片付けをしてから帰るよう指示していた10分の合計1日40分、その過去3か年分の残業代として96万3千円を支払えというものであった。現在もそのルールは生きており、出勤カードにも始業30分前の記録があるという。一度会の弁護士に相談してみるよう話したが、弁護士の先生は支払った方が後で利息の請求をされるよりはよいという返事であったという。またある歯科医院では、パート従業員の助手2人が私達には有給休暇がないのかと質問してきたので「ない」と答えたら労働基準監督署に訴えられたという。パートタイマーでも週の所定労働時間が30時間未満であっても、(1週の労働時間が30時間を超えている場合は、常勤と同じ日数の有給休暇をあたえなければならない)1週の所定労働時間が2日で、1年間の所定労働日数が72日を超えている場合は有給休暇を与えなければならないとなっている。例えば1日3時間、1週5日出勤しておれば、1年間の所定労働日数は240時間となり、6か月の勤続で7日の有給休暇を、1年6か月で8日と、1年毎に1日増えて、6年目からは15日の有給休暇を与えなければならない。しかも常勤従業員の場合は、有給休暇の請求があれば与えるだけで済むが、パートの場合は、1日の賃金を支払う必要があるから経済的な負担の影響は大きい。私共DMCの平成27年の調査では法人も含めて、「規定通り全て与えている」が31.2%、「1～3日」15.6%、「4～5日」19.5%、「6～7日」10.4%、「10日以上」が7.8%であった。規模の零細な医院ほど影響が大きくなるが、渋い顔で与えるよりは、従業員のモチベーションを高める方向に持っていく手腕が問われるということになる。

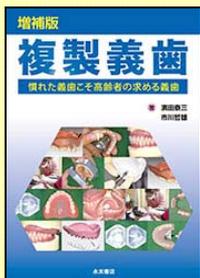
(つづく)

※玉キニュース 2017年 11月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊

『増補版 複製義歯』
～慣れた義歯こそ高齢者の求める義歯～



本書は、従来の複製義歯の考え方や方法に、今後は主流になると思われる訪問診療の現場や、デジタル化の部分を書き加えた「複製義歯」のことがまるごとわかる一冊。

- 著 濱田 泰三/市川 哲雄
- 出版=永末書店
- 価格=6,000円+税

『地域包括ケアシステムで活かせる！
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術』



在宅・施設での口腔機能管理のニーズが高まるなか、介護技術と口腔機能管理の技術をセットで解説。現場で安心・安全な口腔ケアを提供することを目指す歯科衛生士や歯科医師および高齢者施設職員にとって必読・必修の書！

- 編著=秋房 住郎/泉 蘭依
- 出版=永末書店
- 価格=3,200円+税